

長野県議会議員 自民党県議団

竹内まさみ

活動報告

令和2年4月発行 第3号

竹内正美 事務所

地図科坂城町大字坂城10046-101

TEL 0268-82-7377

FAX 0268-82-7378

URL takeuchimasami.com



竹内まさみの県議一年目の活動を写真で振り返ります

2019年4月～2020年3月



千曲市



千曲市



千曲市



視察



科野のムラお田植えまつり



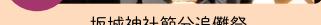
戸倉上山田温泉夏祭り



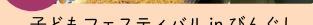
ちくま未来フェスタ



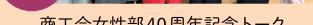
信濃美術館建設現場視察



坂城神社節分追儺祭



子どもフェスティバル in びんぐし



商工会女性部40周年記念トーク



農政林務委員会 県内視察



伝える



伝える



ボランティア



ボランティア

活動報告ランチ会（女性対象）

活動報告（長野フォーラム）

台風被災地にて復旧活動

あこがれ先生プロジェクトinながの



交流



交流



聴く

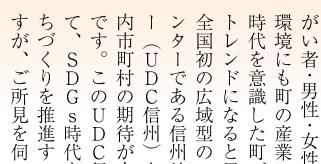
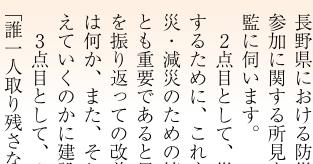
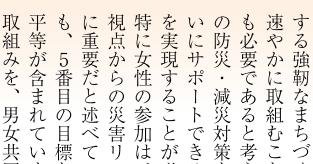


聴く

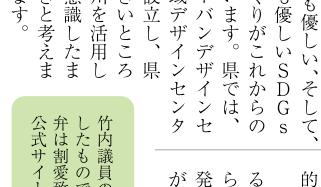
科野青年会議所創立50周年記念式典

避難所にて被災者の話を傾聴

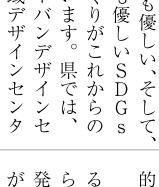
10年間毎月開催聴き愛cafe

長野県における防災・復興への女性の
平等が含まれています。防災復興への
取り組みを、男女共同参画の視点から考
えることも重要な点だと考えます。長野県における防災・復興への女性の
平等が含まれています。防災復興への
取り組みを、男女共同参画の視点から考
えることも重要な点だと考えます。長野県における防災・復興への女性の
平等が含まれています。防災復興への
取り組みを、男女共同参画の視点から考
えることも重要な点だと考えます。

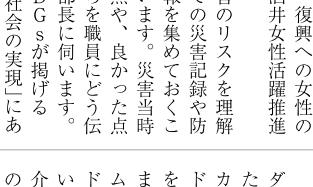
SDGs時代を意識したまちづくり



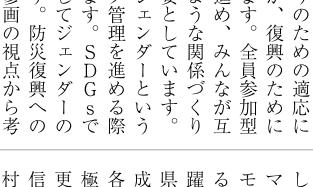
SDGs時代を意識したまちづくり



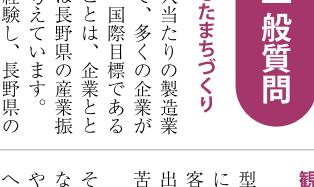
SDGs時代を意識したまちづくり



SDGs時代を意識したまちづくり



SDGs時代を意識したまちづくり



SDGs時代を意識したまちづくり

2月 定例会一般質問

観光誘客と信州おもてなしマイスター

台風19号災害、そして雪不足、新型コロナウイルスの感染拡大の三重苦にあえいでいる県内観光。海外からの客足が鈍っているうえに、国内でも外出を避ける動きが広かり、県内観光は苦しい状況が続きそうです。長野県には、地元の強みにも詳しく述べる強調なまちづくりのための適応に速やかに取組むことが、復興のために必要であると考えます。全員参加型の防災・減災対策を進め、みんなが互いにサポートできるような関係づくりを実現することが必要としています。特に女性の参加は、ジエンダーという視点からの災害リスク管理を進める際に重要なとされています。SDGsでも、5番目の目標として「ジェンダー」の目標とされています。SDGsでも重要なとされています。SDGsでも平等が含まれています。防災復興への取り組みを、男女共同参画の視点から考えることも重要な点だと考えます。そこで、長野県における防災・復興への女性の役割について、これまでの災害記録や防災・減災のための情報を集めておくことも重要であると思います。災害当時を振り返っての改善点や、良かった点は何か、また、それらを職員にどう伝えていくのかに建設部長に伺います。

2点目として、災害のリスクを理解するため、これまでの災害記録や防災・減災のための情報を集めておくことも重要であると思います。災害当時を振り返っての改善点や、良かった点は何か、また、それらを職員にどう伝えていくのかに建設部長に伺います。

「誰一人取り残さない社会の実現」になりますように、大人・子供・高齢者・障がい者・男性・女性にも優しい、そして、環境に優しいSDGs時代を意識したまちづくりを推進すべきとを考えますが、ご所見を伺います。

竹内議員の質問を一部抜粋・要約したもののです。細面の都合上、答弁は割愛致します。答弁の全文は、公式サイトよりご覧いただけます。



ダムカードやマンホールカードといつた、全国的に話題となり多くの種類のカードが配布されているインフラカードには、カードそのものを集めることを目的とした観光客が多いと聞いています。インフラカードとしては主にダムカード、マンホールカード、橋カード、砂防カード、信州の土木カードなどをいうように、その土地のインフラを紹介するカードが配布されています。その土地でしか手に入らないインフラカードを積極的に活用することは、効果的な誘客手法だと考えます。

既に信州曲輪観光局が取り組んでいますが、県でも観光部が関連部局から情報を整理し、様々な手法で情報を発信することは可能であると考えます。が、観光部長にご所見を伺います。

【長野県から県民の皆様へ】新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためのお願い（詳しくは長野県ホームページをご覧ください）

①発熱等の風邪症状のある方は外出を控えましょう ②集団感染の防止にご協力ください ③自らの感染を防止し他の人にうつさないようにしましょう

令和元年度

長野県議会議員 自民党県議団 竹内まさみ

議会・委員会での発言と回答

県議会議員一年目の定例議会と
委員会での主な発言とその回答
についてまとめました！



6月

千曲市及び坂城町の千曲川
左岸の道路整備状況

定例議会

発言

国道1号坂城更埴バイパス及びこれに関連する県道の整備について、坂城町区間においては、既に都市計画決定から三十数年が経過しており、平成23年度に事業化された区間においても、用地買収には着手されているものの、今だに工事着手には至っていない状態が続いている。県道長野上田線には、朝夕の通勤・通学時間帯に混雑する現道の国道から多くの車が流れ込み、上山田温泉街や坂城町上平地籍で慢性的な交通渋滞を発生させています。既に都市計画決定されている県道坂城インター線先線の新たな橋梁が道路ネットワークを形成するものと期待されているところです。国が進めています国道1号坂城更埴バイパス整備の今後の見通しと、県の考え方並びに坂城インター線の延伸の見通しについてお聞きします。

回答

国からは、事業中の区間につきましては早期供用に向けて用地買収と改良工事を鋭意進めていると聞いておりますが、開通時期は公表されていない状況です。ご指摘通り、事業期間が長くなっている区間もあり、県と致しましては國に早期整備を強く要望して参りたいと考えております。次に県道坂城インター線につきましては、国道1号からしなの鉄道を立体交差し、テクノさかき工業団地までの道路を県が新設しているところです。県と致しましては、まず現在施工中の区間を優先的に進め、その進捗状況を踏まえ、先線の千曲川を渡る橋梁の事業の進め方について関係機関と調整して参りたいと考えております。

今年二月の定例議会
にて発言の様子▼

▲初当選時、
選挙事務所にて

9月

外国籍児童に関する教育現場での課題取組みについて

定例議会

発言

製造業が盛んで、海外とつながる中小企業が多い坂城町でも、年度毎に外国籍児童生徒が増えています。外国籍児童生徒にとっては、教育システムが異なる日本の学校で突然学ぶことになるために様々な困難があります。県教委が日本語指導教室を開設し、教員を配置していることは高く評価しますが、配置された教員が外国籍児童生徒へ十分な指導ができるよう、年2回の研修に加え、更に研修の機会を増やす取組みをすべきと考えます。また、日本語指導ができる教員の裾野を広げる取組みも必要と考えますが、いかがでしょうか。

回答

来年度から、この研修を3回に分けて予定であります。具体的には、外国籍児童生徒一人一人の日本語の力を測定し、その結果を元にきめ細やかな指導のあり方を学ぶ研修を新たに始めることで、教員の専門性を高めて参りたいというふうに考えております。また今後、外国籍児童生徒数の増加が見込まれることから、これに見合ったものとなるよう、計画的に日本語指導ができる教員の育成に努めて参りたいと考えております。

9月

治水技術を後世に伝える
取り組みについて

定例議会

発言

千曲市在沢川には、明治15年に作られた石積み砂防護堤が今も現存し、現在も治水効果を發揮しており、国の有形文化財に登録されています。千曲市と坂城町には、このような日本古来の治水施設が残されており、災害の軽減に効果を發揮しています。例えば、坂城町谷川の石積み堰堤や千曲川の露堤があります。先人が培ってきた治水技術を後世に伝えるために、更に取り組むべき内容は何か。そのための予算の確保をどう考えますか。

回答

治水対策に関しても、広域的かつ総合的に考えなければならない時代になってきたと実感しております。信濃川水系緊急治水対策会議の中で、流域内の全ての関係者が連携し、河川管理者が行う河川での対策に加え、内水対策を含む流域対策、更には浸水被害も考慮したまちづくりや避難誘導に資する各種ソフト対策を一体的かつ緊急的に進めて参りたいと考えております。予算に関しましても、こうした取組みの中でしっかりと確保できるよう国に対して要請して参ります。

令和元年度は、定例議会と農政林務委員会、各4回実施され毎回質問の機会がございました。これからも地域の皆様の声と私の想いを県政へ届け、実行できるよう提言を行って参ります！

9月

県立歴史館周辺の日常的な
渋滞対策について

定例議会

発言

千曲市の県立歴史館前の県道白石千曲線では、日常的に倉科踏切から須ヶ嶺水神社にかけて渋滞が見られ、特に通勤時間帯は地域の皆様が大変苦慮されております。また、県立歴史館や周辺公園でのイベントやあんずまつり開催時には特に悪化し、生活道路で歩行者が危険な目に遭うことや、更埴IC周辺の国道18号の渋滞にも影響を与えているという指摘もあります。近傍の雨宮地区では先頃新たに14ヘクタールの物流団地の造成が始まり、計画では3年後に複数の物流事業者が操業を開始すると伺いますが、これにより見込まれる車両の増加に対し、地域の皆様から将来への不安の声も聞こえています。今後、国道403号を含め、この地域の全体的な渋滞解消と歩行者の安全確保について県として具体的にどう対応していくのか。

回答

県立歴史館周辺の国県道には、短い距離で連続するT字交差点や踏切があり、朝夕に混雑が生じていることや、一部歩道が設置されていない箇所があることは承知をしております。雨宮産業団地への企業進出が見込まれている他、上信自動車道へのスマートICの設置やその周辺開発の構想があることも伺っております。県では今後、こうした開発等の動向、そして、それに伴う交通への影響等を注視しつつ、交通の円滑化や安全の確保に向け、千曲市等と連携しながら対応を図ってまいりたいというふうに考えております。

11月

防災教育について

定例議会

発言

私は水害に悩まされ続けた集落、千曲市土口地区で生まれ育ちました。この地区では、度重なる洪水被害から命や財産を守るために様々な工夫と独自の水害対策をしており、それを代々伝えています。治水工事の必要性を強く思うとともに、地域の災害の歴史を学ぶことが重要だと教えられた気がします。そこで、危機管理部長にお聞きします。今回の災害(台風19号)で得た教訓は何か。また、将来にどのように生かしていきますか。

回答

過去の災害で得られた貴重な教訓を生かすことが実災害において多くの命を救う結果につながるものと認識しております。同じような災害があった時には、迅速かつ的確に対応することができるよう、しっかりと記録にとどめ、得られた教訓を将来の防災・減災対策に生かしてまいりたいと考えております。

千曲市キャラクター
あん姫と一緒に坂城町キャラクター
ねづこんと一緒に▼

11月

棚田を使った地域振興支援

委員会

発言

千曲市の宝の一つとして棚田がある。姨捨田ヒルクライムというイベントを個人で行った方がいらっしゃる。海外からも、他県からも参加があり、宿泊者もいたため近隣にある戸倉上山田温泉にとっても影響が大きい。そこで、棚田サミット等、他県から集まるイベントを誘致したり棚田を核とした地域振興を要望する。

回答

棚田地域振興法が制定されたので法律に基づいた地域支援ができるように考えていく。

11月

松くい虫対策について

委員会

発言

松くい虫の被害が拡大しており、私の地元でも色々と苦労されている。市町村の対策の取組みに対する県からの支援の今後について見解を伺う。

回答

伐倒駆除においては、要望に対して、大体9割から95%ほど、予算措置をして対応している。それ以外の樹種転換等については、要望に応じて100%措置をしている。切った木をチップにして出すことについて補助金もある。バイオマス利用の活性化にあわせて、市町村に積極的に補助金を使ってもらうことで駆除に力を入れていきたいと考えている。

11月

有機農業推進について

委員会

発言

課題や要望をヒアリングされたということだが、その一つに農業者同士のつながり拡大があると思われる。これについて、具体的な解決策をどう考えるか。

回答

有機農業のアドバイザーを紹介してアドバイスをして交流していただく。また、同じような品目で農業をやっている方が意見交換ができる場をつくっていきたい。